

読寶ニ附ス
分ノ一トス
力法院
貳拾圓也
五才
也

皇弟 延の結果選挙用紙紙質粗悪なり
鑑定を下せり(東京電報)

て連日降雨あり平安、咸鏡地方は
に反し

最輕く包裝大なる爲め到底搬出し
れざるより特に舟を洛東江に下し

●簡易實業開校式 京城
立簡易實業專修學校の開校式は十

十三日正午復舊通信狀態平常通
となれり

税關員は十五日午後六時より待合
に於て送別會を催すべし▲釜山

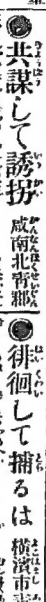
不須遠去白雲間。咫尺市廛心太閒。
七字中觀自在。應憐一鐵破三關。

仁川



六蔵住の子供 川橋盛果反て縄跳屋敷になる上

一 察支管區砂已巡查畢在所轄移の巡查一 (男 總) (大田岩) (小島洋) (成瀬)



一多を現はし 取在通中は劣り種

是——静時

二〇日 五時 二十三分

女
コエスギ

た人
に著しくホソクを
ヤセ樂を切手二錢
御送附後付元庄
加古郡板元村元庄

有名
なる

アルボース
賣捌所は全國

種店および
小間物化粧
品店內あり

法驗試酸石

石鹼を純良無上の品質なるが故に
絶えず帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院等の採用品となり、化粧衛生の第一品として満天下に賞讃を博するのです

賞讃を博するのです

品質本位

花王石鹼

千萬言の

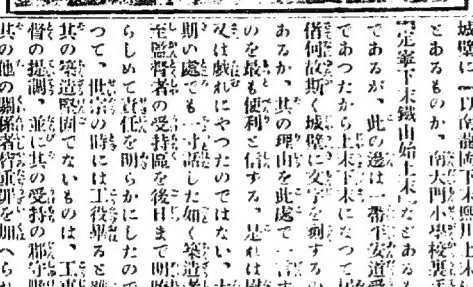
説明を聴くよりは、此の一管の實驗を御覧なさい

入船水目水香部	元船製鹼石下花
心摩代西細鹼石上花	店理代東國水香部
町土京阪大	町曉馬京東
會商和崎大	會商瀬長

下
 三
 利

切取成八十五番加板、城壁の文字

江陵沃川の如く郡縣名のみを



南部長、裁判所、
事務部其他官民

にして一時は不安の狀態に陥りたり

定價 每部 三
刊告 國
印行 所
發行 所
地址 上海

[illegible]

—

朱式
五
東京本町二丁目

其他

朝鮮總

山村耕花民製帽

は

かに及び強い純官能の反響の
的に突進してゐる、本書は終

25695
電話
張氏
石水

四錢

京城南六門外

[illegible]

三
村山下
茶詩

照會が一船

教育學術名著叢刊

東城三〇番

良醇

15

ペイント販賣店及需用

詩文

審決有之候間御扱上特に御沙

E

東坡志林

行旅

販賣中止

雨

革各
ツキン
ツカ
皮齒車
革細金具
進工業用諸革


品質保證花鹿皮富

鐵齒
朝鮮總代理店
白神洋行

仁川本町四丁目

新田鐵

定銀
表報
大第
送呈



25665
 日本
 水車
 製造
 所
 東京
 市
 大塚
 町
 二丁目
 二番
 地
 電話
 二五
 六六
 五

猪飼式輕便唧筒
 は消火消毒兼用
 にして品質堅牢
 價額低廉なり

水車、石拔、唐箕、
 石拔、萬石、粗摺
 白、粗篩


其他各種農具廉價販賣仕候
 營業案内御申越次第郵送可致候

新報版

傳古 教百 界記 念號	石川 農村 振興 業組 合	岡行 三浦 主入 者	何休 氏	龜降 山	村山
聖 タ ゴ ー ル	歴 史 と 人 物	参 禪 實 話	平 家 詩 史	平 家 詩 史	平 家 詩 史
定價 六十 錢	定價 四十六 錢	定價 四十六 錢	定價 四十六 錢	定價 四十六 錢	定價 四十六 錢

目二丁町市城宗
七二一五四一
五二一五四一

良酒
 白鶴
 仁川本町三丁目
 増本酒店
 電話一〇九番
 振替元城六一九番


日本ペイント製造株式會社
 東京市南品川 大阪府北浦江

東京大相撲

初日手捌

十三日初日の主なる勝負は、手捌きで、
王将 鶴岡 朝日山 朝日山
大関 若 駒 泉
龍崎 花 若山 花山
九郎 崎 花山 花山
新木 崎 花山 花山
宇都宮 崎 花山 花山
宇都宮 崎 花山 花山

相撲雑観

▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観
▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観

宇都宮に大錦

▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観
▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観

宇都宮に大錦

▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観
▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観

宇都宮に大錦

▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観
▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観

宇都宮に大錦

▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観
▲宇都宮に大錦
▲相撲雑観

沈没せる汽船

沈没せる汽船
沈没せる汽船

沈没せる汽船

沈没せる汽船
沈没せる汽船

沈没せる汽船

沈没せる汽船
沈没せる汽船

沈没せる汽船

沈没せる汽船
沈没せる汽船

沈没せる汽船

沈没せる汽船
沈没せる汽船

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

挑戦状呈上

挑戦状呈上
挑戦状呈上

「四四」
いよわ

[illegible]

らうと思ひますから。」

『では言へない、就仰るのへ。』馬子^{ばし}は焦れたやうな氣色で、優しい眼みくをしながら、それは、府^ふ大野^{だの}さん、私共^{わが}についで下さうといふお心がお有んなるなら、何もかも打明けて安心をさせて下さるのが、眞實の情願^{じやうげん}、なんぢやございせんか、痒いところに手が届かないやうな、そんな不徹底^{ふていだい}なとを被仰つて、餘計に私を煩悶させるのが、決して情誼^{じやうぎ}とは言へないでせう。何、誰です、その本人は……知れてゐるならお話し下さいましな。さ、大野さん。

ついで追つて来て、男の腕に手をかけたなりに搖ぶつた。でも大野は動かなかつた。

『いや、言はれせん。言はない方きませう。』大野は氣の毒さうに言を

て、僕は掌^{てのひら}何にも知らん振をしてゐてこそ、その廠^{しやう}の裏を歩いてやつて思ふ盡に留め込んでから、ひたりと動きのこれない遊艇を抑へて、それから公然の機藏^{きざう}をウツン加へてやうと思つてゐるんです。此邊の船引

調物を見せ即器置^{しやくき}及テグネット室

三浦天龍堂眼鏡部

京本町二丁目二〇〇番地三〇四

の財産といふものあれば、簡位といふものもあるぢやありませんか。」「はッ、財産ですつて……（へい）馬子^{ばし}は、その意味が分らなかつた。如何に、御山^{ごさん}たらうと、少時思ひ違つてゐる様子^{ようす}にたつた。顔でコバルト色の澄切つた雲空を見仰りて、肝然とした顔を浮かべ、疎かしながら

『い、わ、い、わ。殺されたつて、此も聊かしいことはないわ。私、運命の興へてくれた死なら、悦んで受取るこよ。笑つて殺されて上げるわね。大野さん、爾うでせう。』その笑顔^{えがほ}を仰いだ時に、大野はその氣^きに、馬子の神々しい心の姿を見出し、思ふが、斯式の火繩銃、折柄案内者の金作が舊式の火繩銃をかいて、咄き、咄きかけて來た。

有迫の誘惑に餘角^{かく}なく得た地帯に、私財とを棄て、苦境の境に落ち、

流者の心

精強を腦にす
精力を腦にす
精神増分は
完全なる
生器

本院分院
診察院
中村耳鼻咽喉科醫院

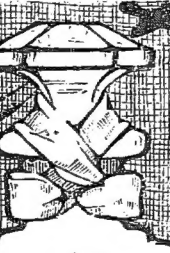
滋強丸

論者は服法見者

効能能静す

京成支那領事館前
電話一五五〇番
龍山橋邊温泉
山手前白八丁
午前八時午後六時

[illegible]



かっけ

 尾崎糖精

 販賣元 東京中澁谷町 尾崎兄弟商會

 京城府龍山元町(憲兵隊側)

 幾野醫院

 電話二〇四番

 世界名花の精を集めた

 ヴィスメ香水

 一滴、てよく使つ

[illegible]